

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実 各分野との交流・連携の充実

事業名	教育委員会運営事業(教育委員会表彰)	担当課名	教育政策課
-----	--------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市の教育の振興・発展に優れた実績を収めた者や、文化・芸術活動やスポーツにおいて優秀な成績を収めた者に対して表彰を行い、教育や文化に対する関心を喚起し、本市の教育と文化の向上・発展に寄与すること。
(事業概要等)
各種大会やコンクールなどで優秀な成績を上げた個人、団体について、学校や社会教育関係団体などからの推薦を受け、または広報紙やホームページを通じて公募を行い、教育委員会において審査し、受賞者(個人及び団体)を決定する。

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	49	51	60	
うち市負担分(千円)	0	49	51	60	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
受賞者数(個人)	人	9	23	34	30
受賞団体数	団体	1	1	1	1
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
多くの個人や団体に対して表彰を行うことができた。また、1度表彰を受けた方が、さらに成績を伸ばし、再度の表彰に至っている点からも、教育活動、文化活動及び体育活動に対するモチベーションを高めることができおり、今後のより活発な活動への一助となった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	コロナ禍の表彰の方法を踏まえ、今後表彰式は行わないこととし、代わりに教育長メッセージを表彰状とあわせて送付したり、希望者の顔写真や競技中の写真を市のホームページに掲載したりした。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	受賞者は体育関係が多く、文化・芸術部門の推薦が少ないといった傾向がある。
---------	--------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 表彰式は行わないが、被表彰者に表彰されたことを実感してもらい、モチベーションに繋がられるように工夫を続けていく。
	改革・改善策等の具体的内容	募集については市のホームページや広報紙等で広く行うことを継続し、インターネットやSNSの有効な活用について研究する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実

事業名	情報環境整備事業	担当課名	教育政策課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
ICTを活用した授業実施に向けた環境整備と、教職員の業務負担を軽減することを目的とする。
(事業概要等)
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が使用する校務用パソコンを配備する。 ・ICT支援員を配置する。 ・通信環境を整備する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	150,992	94,523	74,812	76,740	
うち市負担分(千円)	83,163	54,087	43,583	56,572	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
教職員への校務用パソコン普及率	%	95	95	99	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
GIGAスクール構想の実現に向け、前年度に整備した大容量通信ネットワークについて、使用できる教室を少人数教室にも拡充した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	少人数教室にも大容量通信ネットワークを整備した。また、導入から時間の経過した校務PCを更新するとともに、学級担任(支援学級を除く)用に新しいiPadを配付した。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任以外の教員の授業用iPadが古くなり、性能面が問題となっている。 ・国が推進する構想であるものの、整備・更新費用の支援はなく、財政負担が大きい。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 教職員の業務負担の改善をするためには引続き校務環境の改善が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	全教職員に校務用パソコンを配備できていないのでリース台数の拡充を検討するとともに、更新については計画的に実施する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実

事業名	小学校維持管理事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
教育環境を整えるための適正な維持管理を図る。
(事業概要等)
小学校児童の安全・安心な学習環境の確保のために、老朽対策等を推進し、児童の安全確保に取り組む。 ・小学校の安全点検(浄化槽定期検査、簡易専用水道定期検査、揮発性有機化合物検査、エレベーター保守点検、消防設備保守点検、自家用工作物保安管理、貯水槽清掃、体育遊具保守点検、砂場殺菌洗浄、防火設備定期検査、フロン定期点検)

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	128,423	198,667	179,617	214,295	
うち市負担分(千円)	125,244	195,320	176,186	209,776	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
施設の適正な維持管理に係る事業である為、指標設定不可					
(成果の概要)					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	厳しい財政状況の中、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く老朽化が深刻な課題となっている。限られた予算において可能な限り、安全面や機能面の改善を図る。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 老朽化が深刻な状況となっていることから、大規模改修を継続し、安全面や機能面において適正な維持管理が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	老朽化対策を進めるための計画的な施設整備予算の確保を図っていくとともに、老朽化対策と併せて様々な学習内容・学習形態による活動が可能となる機能面の改善を図り、引続き適正な維持管理を実施する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	小学校給食事業	担当課名	教育政策課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
学校給食法の趣旨に則り、児童に安全で安心な学校給食を提供することにより、心身の健全な発達に資するとともに、食育の推進を図ること等を目的とする。
(事業概要等)
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校給食調理業務委託(調理、配缶・配膳、洗浄消毒、施設等の整備、衛生管理) ・小学校給食実施のための環境整備(必要物品の購入・施設の修繕等) ・公会計化による食材費やときめき給食における特別な食材費

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	204,010	139,758	358,212	386,040	
うち市負担分(千円)	136,431	122,458	185,963	164,033	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
給食残渣率年間平均	%	5	6	7	5
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
安全安心な給食を提供することはできたが、引き続きコロナウイルス感染症拡大の影響で、様々な制限下での給食実施が続いたため、給食残量は前年度より増加した。 また、令和4年度より特別な給食として始めた「ときめき給食」において、普段使用できないような大阪産の「なにわ黒牛」や「がっちょ」を給食として提供することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	本市独自の取り組みであるときめき給食を通して食育に繋がる取り組みを開始した。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	食物アレルギーなどへのきめ細やかな給食対応や、生涯にわたって健康で豊かな生活を送るために必要な食育の推進が求められている。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 安全・安心な給食を今後も安定して提供し続けていくため、調理業務の委託継続により、学校給食の水準を維持するとともに、更なる衛生管理を進める。
	改革・改善策等の具体的内容	全児童に安全・安心な給食を提供できるよう、アレルギーの対応を定めたマニュアルの更新を適宜行うほか、アレルギーに係る事故やヒヤリハット事例を全校で共有し、未然に防ぐための対応について検討する。また、小学校給食費の公会計化を機に、収納方法の拡充の検討、システムの改修等準備を進める。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実

事業名	小学校施設整備事業	担当課名	教育政策課・資産活用課
-----	-----------	------	-------------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
安全・安心で快適な学習環境を提供するため、学校施設・設備の老朽化対策など、安全面や機能面の向上を図るため。
(事業概要等)
小学校児童の安全・安心な学習環境の確保のために、老朽対策等を推進し、児童の安全確保に取り組んでいる。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	353,926	777,283	661,755	1,606,618	
うち市負担分(千円)	23,762	28,100	93,682	32,982	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
小学校大規模改修率(25年毎)	%	66	63	66	72
小学校マンホールトイレの設置率	%	25	25	37	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
<ul style="list-style-type: none"> ・条南小学校の長寿命化改良工事を竣工し、条東小学校の長寿命化改良工事に着工した。 ・上條小学校建替に係る基本設計 					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館耐震化(H17～H19) ・校舎の耐震化(H7～) ・体育館非構造部材の改修(H24～H28) ・校舎の長寿命化(H26～) ・体育館空調設備整備(R2～R3)
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 老朽化が深刻な状況となっていることから、大規模改修を継続し、安全面や機能面において改善を図る必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	老朽化対策を進めるための予算の確保を図っていくとともに、老朽化対策と併せて様々な学習内容・学習形態による活動が可能となる機能面の改善を図っていく。また、避難所の充実として、校舎の増改築に併せてマンホールトイレを整備していたが、他の学校においても整備手法など調査・研究を進める。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	① ③	学習環境の整備・充実 学校教育の充実

事業名	小学校教育振興事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
未来を担う児童に必要な良質な教材を整備し、より良い教育環境を提供することを通じて児童の学力、心身の育成や社会性の向上を目的とする。
(事業概要等)
時代に応じた多様な学習活動に対応するため、市立小学校の各教科授業に必要な教材の整備等を行い、より良い教育環境の整備・充実を図る。 ・教具教材の購入 等

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	5,381	5,295	5,025	5,254	
うち市負担分(千円)	4,668	4,432	4,195	4,354	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
児童一人あたり備品購入額	円	1,413	1,407	1,369	1,414
理科教育設備整備率 整備金額÷整備基準金額	%	65	67	69	70
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
授業を行う上で、より良い教育環境の整備により、児童の学力、心身の育成や社会性の向上に資するとともに、各学校において多様な学習活動に対応するための教材等の整備及び有効活用により、授業の理解度や学習意欲の向上に寄与している。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ごとで購入していた教具教材について、より効果的、効率的な予算執行とするため、年度当初の同時期に必要なものを、教育総務課において一括購入を行うこととした。 ・より一層学校ごとの特色を発揮できるものとするため、平成25年度から、各学校予算の要求時に、予算要求総額の上限を設定した上で、各学校の実情に応じた科目ごとの予算要求を行う仕組みを構築した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	厳しい財政状況から限られた事業予算を、充実した教育環境に向けた教材整備、児童の学力向上については教育の質の向上に資するため、いかに効果的・効率的に執行するかが課題である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市立小学校の各教科授業を行う上で、より良い教育環境のための教材整備を継続し、多様な学習活動への対応や教材の有効活用により、授業の理解度や学習意欲の向上を図る必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な授業を進めるための予算の確保については、実情に応じた科目ごとの予算要求により対応していくとともに、総事業費を基本とする予算の確保を図っていく。 ・学校の特色のある取組みを支援する予算要求の仕組みは、引き続き実施していく。 	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実

事業名	中学校維持管理事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
教育環境を整えるための適正な維持管理を図る。
(事業概要等)
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校生徒の安全・安心な学習環境の確保のために、老朽対策等を推進し、生徒の安全確保に取り組む。 ・中学校の安全点検(簡易専用水道定期検査、揮発性有機化合物検査、エレベーター保守点検、消防設備保守点検、自家用工作物保安管理、貯水槽清掃、防火設備定期検査)

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	30,521	64,994	41,687	56,124	
うち市負担分(千円)	27,701	62,205	39,270	51,624	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
施設の適正な維持管理に係る事業である為、指標設定不可					
(成果の概要)					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	厳しい財政状況の中、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く老朽化が深刻な課題となっている。限られた予算において可能な限り、安全面や機能面の改善を図る。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 老朽化が深刻な状況となっていることから、大規模改修を継続し、安全面や機能面において改善を図る必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	老朽化対策を進めるための計画的な施設整備予算の確保を図っていくとともに、老朽化対策と併せて様々な学習内容・学習形態による活動が可能となる機能面の改善を図り、引続き適正な維持管理を実施する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実

事業名	中学校施設整備事業	担当課名	教育政策課・資産活用課
-----	-----------	------	-------------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
安全・安心で快適な学習環境を提供するため、学校施設・設備の老朽化対策など、安全面や機能面の向上を図るため。
(事業概要等)
中学校生徒の安全・安心な学習環境の確保のために、老朽対策等を推進し、生徒の安全確保に取り組む。

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,835	256,940	400,268	812,164	
うち市負担分(千円)	3,835	25,040	55,840	63,394	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
中学校大規模改修率(25年毎)	%	42	42	37	37
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
小津中学校の長寿命化改良工事に着手した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	・体育館耐震化(H17～H19) ・校舎の耐震化(H7～H23) ・体育館非構造部材の改修(H28) ・体育館空調設備整備(R3)
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 老朽化が深刻な状況となっていることから、大規模改修を継続し、安全面や機能面において改善を図る必要性がある。
	改革・改善策等の具体的内容	老朽化対策を進めるための予算の確保を図っていくとともに、老朽化対策と併せて様々な学習内容・学習形態による活動が可能となる機能面の改善を図っていく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	中学校給食事業	担当課名	教育政策課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
学校給食法の趣旨に則り、生徒に安全で安心な学校給食を提供することにより、心身の健全な発達に資するとともに、食育の推進を図ること等を目的とする。
(事業概要等)
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校給食実施に係る調理業務等委託 ・中学校給食実施のための環境整備(必要物品の購入・施設の修繕等) ・ときめき給食における特別な食材費

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	173,687	197,362	206,883	250,084	
うち市負担分(千円)	56,750	100,982	111,844	124,164	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
給食残渣率年間平均	%	17	22	23	20
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
安全安心な給食を提供することや、委託業者・栄養士・市教委で実施した給食の振り返りを行うことで献立の改善を行ってきたが、引き続きコロナウイルス感染症拡大の影響で、様々な制限下での給食実施が続いたため、給食残量は前年度より増加した。 また、令和4年度より特別な給食として始めた「ときめき給食」において、普段使用できないような大阪産の「なにわ黒牛」や「がっちょ」を給食として提供することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	アンケートの実施や、委託業者・栄養士・市教委との献立検討会議を継続的に実施し、改善に取り組んでいる。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	現状の給食に対し、生徒がどのように感じているのか、アンケート調査等を通じて把握し、今後の給食に生かしていくことが必要と考えられる。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後においても、委託業者と市が連携して安心・安全な給食提供を継続する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	全生徒に安心・安全な給食を提供できるよう、アレルギーの対応を定めたマニュアルの更新を適宜行うほか、アレルギーに係る事故やヒヤリハット事例を全校で共有し、未然に防ぐための対応について検討する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	① ③	学習環境の整備・充実 学校教育の充実

事業名	中学校教育振興事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
未来を担う生徒に必要な良質な教材を整備し、より良い教育環境を提供することを通じて生徒の学力、心身の育成や社会性の向上を目的とする。
(事業概要等)
時代に応じた多様な学習活動に対応するため、市立中学校の各教科授業に必要な教材の整備等を行い、より良い教育環境の整備・充実を図る。 ・教具教材の購入 等

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,807	2,370	2,370	2,299	
うち市負担分(千円)	2,355	1,933	1,951	1,799	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
生徒一人あたり備品購入額	円	1,273	1,090	1,133	1,108
理科教育設備整備率 整備金額÷整備基準金額 (指標を設定できない理由)	%	50	55	56	56
(成果の概要)	授業を行う上で、より良い教育環境の整備により、生徒の学力、心身の育成や社会性の向上に資するとともに、各学校において多様な学習活動に対応するための教材等の整備及び有効活用により、授業の理解度や学習意欲の向上に寄与している。				

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ごとで購入していた教具教材について、より効果的、効率的な予算執行とするため、年度当初の同時期に必要なものを、教育総務課において一括購入を行うこととした。 ・より一層学校ごとの特色を発揮できるものとするため、平成25年度から、各学校予算の要求時に、予算要求総額の上限を設定した上で、各学校の実情に応じた科目ごとの予算要求を行う仕組みを構築した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	厳しい財政状況から限られたられた事業予算を、充実した教育環境に向けた教材整備、生徒の学力向上については教育の質の向上に資するため、いかに効果的・効率的に執行するかが課題である。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市立中学校の各教科授業を行う上で、より良い教育環境のための教材整備を継続し、多様な学習活動への対応や教材の有効活用により、授業の理解度や学習意欲の向上を図る必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な授業を進めるための予算の確保については、実情に応じた科目ごとの予算要求により対応していくとともに、総事業費を基本とする予算の確保を図っていく。 ・学校の特色のある取組みを支援する予算要求の仕組みは、引き続き実施していく。 	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	児童等健康管理事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
学校における児童・生徒及び教職員の健康の保持増進を図るための保健管理とともに、教育活動が安全な環境において実施され、児童・生徒等の安全確保を図るための安全管理に関する措置を講じ、学校教育の円滑な実施に資することを目的とする。
(事業概要等)
<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒・教職員の健康保持増進に関すること ・学校管理下における怪我、不測の事態に対する環境整備 ・一定の要件を満たす児童・生徒等への特定疾病に対する医療費扶助

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	34,667	34,469	33,783	37,830	
うち市負担分(千円)	32,408	32,009	31,219	35,743	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
実施そのものが法で定められた健康診断をはじめとする健康の維持管理や、学校管理下で不測に発生した怪我等に対する備えが主な事業内容であり、数値での指標設定が困難であるため。					
(成果の概要)					
各種健(検)診の実施により、児童・生徒・教職員の健康保持増進を図ることができた。学校・教育委員会・医師の連携による学校保健会については、役員会や総会については書面開催をしたが、研究会は実施することができた。また、日本スポーツ振興センター等への加入や医療費扶助等により、特定の疾病や学校管理下での怪我による受診に対し、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。前年度から実施している生理の貧困問題に引き続き取り組み、市内小中学校のトイレに生理用品を設置し、困っている児童生徒に対し支援することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	校務支援システムの導入に伴い、健康診断票のデータ化による児童生徒の健康管理の効率化及び一元管理ができるよう環境の整備を行った。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	校務支援システムにおける児童・生徒の健康管理の効率化及び一元管理を行う中での不具合等の改善。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 法に定められた各種健(検)診を実施するとともに、学校・教育委員会・三師会のより一層の連携により、児童・生徒・教職員の健康保持増進に取り組む。
改革・改善策等の具体的内容	児童・生徒の健康管理をより効果的に行うため、小・中学校に対して、校務支援システムの積極的な活用を促進する。また、教職員のメンタルヘルス対策としてストレスチェックを引き続き行うとともに、教職員を対象としたメンタルヘルス研修の実施に向けて、関係部局と協議する。	